

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは 広報・IR室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <http://www.gs-yuasa.com/jp>2016 年 10 月 24 日
株式会社 GSユアサ

アイドリングストップ車用鉛蓄電池が日産自動車「新型セレナ」に採用

株式会社 GSユアサ(社長:村尾 修、本社:京都市南区。以下、GSユアサ)のアイドリングストップ車用鉛蓄電池(以下、IS 車用鉛蓄電池)の最新モデルが、日産自動車株式会社(社長:カルロスゴーン、本社:神奈川県横浜市西区。以下、日産自動車)の 5 代目「新型セレナ」に採用されました。

日産自動車が 8 月 24 日に発売した「新型セレナ」は、最新の運転支援システム「プロパイロット」^{※1}を採用するとともに、4 代目セレナから引き続き S-HYBRID(スマートシンプルハイブリッド)システムを搭載しています。

S-HYBRID システムは、最適な鉛蓄電池を用いることで減速回生エネルギー^{※2}を十分に受け入れることができます。その結果、長時間のアイドリングストップやモーターによるトルクアシストが可能となり、車両の燃費を向上させることができます。

GSユアサは 2009 年に初めて IS 車用鉛蓄電池を市場に投入しました。それ以降も継続的に開発を進め、今回、採用された最新モデル「S-95」、「K-42」では、従来の始動用鉛蓄電池と比べて「回生充電受入性能」を約 3 倍、「耐久性能」を約 4 倍まで飛躍的に向上させています。今回の採用は、GSユアサの IS 車用鉛蓄電池が S-HYBRID システムの高度なエネルギーマネジメントに最適と評価いただいたことで実現しました。

GSユアサは IS 車用鉛蓄電池を国内・海外の拠点で生産販売しており、今回採用された日産自動車の「新型セレナ」をはじめ、各新車メーカーの多くの車両に採用いただいています。

今後さらなる技術革新およびラインアップ拡充を進め、世界的な IS 車普及への対応を通じて、環境負荷低減とお客様の安心・快適なドライブに貢献してまいります。

【GSユアサ製 IS 車用鉛蓄電池の特長】

1. 高い回生充電受入性能を実現

負極活物質のカーボン添加技術、電解液への新規添加剤技術を採用

2. 耐久性能の飛躍的な向上を実現

正極活物質の高密度化・劣化抑制添加剤技術、負極耳部の耐食性合金表面被膜処理を採用

※1 高速道路の単一車線内で、カーブ走行を含め、常に前走車との車間距離を保持しながら、追従走行を可能とするシステム

※2 ブレーキ制動時の減速時の運動エネルギーを、電気エネルギーとして回収すること。大きなエネルギーが得られるが、ブレーキ制動時間は数秒から 10 秒程度と短時間であるため、蓄電池には、短時間で多くの充電電流を受け入れる回生充電受入性能が要求される。

【「新型セレナ」に採用された IS 車用鉛蓄電池の仕様】

製品名	S-95	K-42
公称電圧(V)	12	12
20 時間率容量(Ah)	75	33
最大外形寸法(mm)	W173×D260×H225	W127×D187×H227
質量(約 kg)	19.5	9.5

【写真】

1. 日産自動車「新型セレナ」



2. IS 車用鉛蓄電池(左から「K-42」、「S-95」)



[この件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 自動車電池事業部 営業本部 直需営業部 東日本営業グループ
TEL 03 - 5402 - 5750

[この件に関する報道関係からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 広報・IR室
TEL 075 - 312 - 1214